コミュニケーション講座

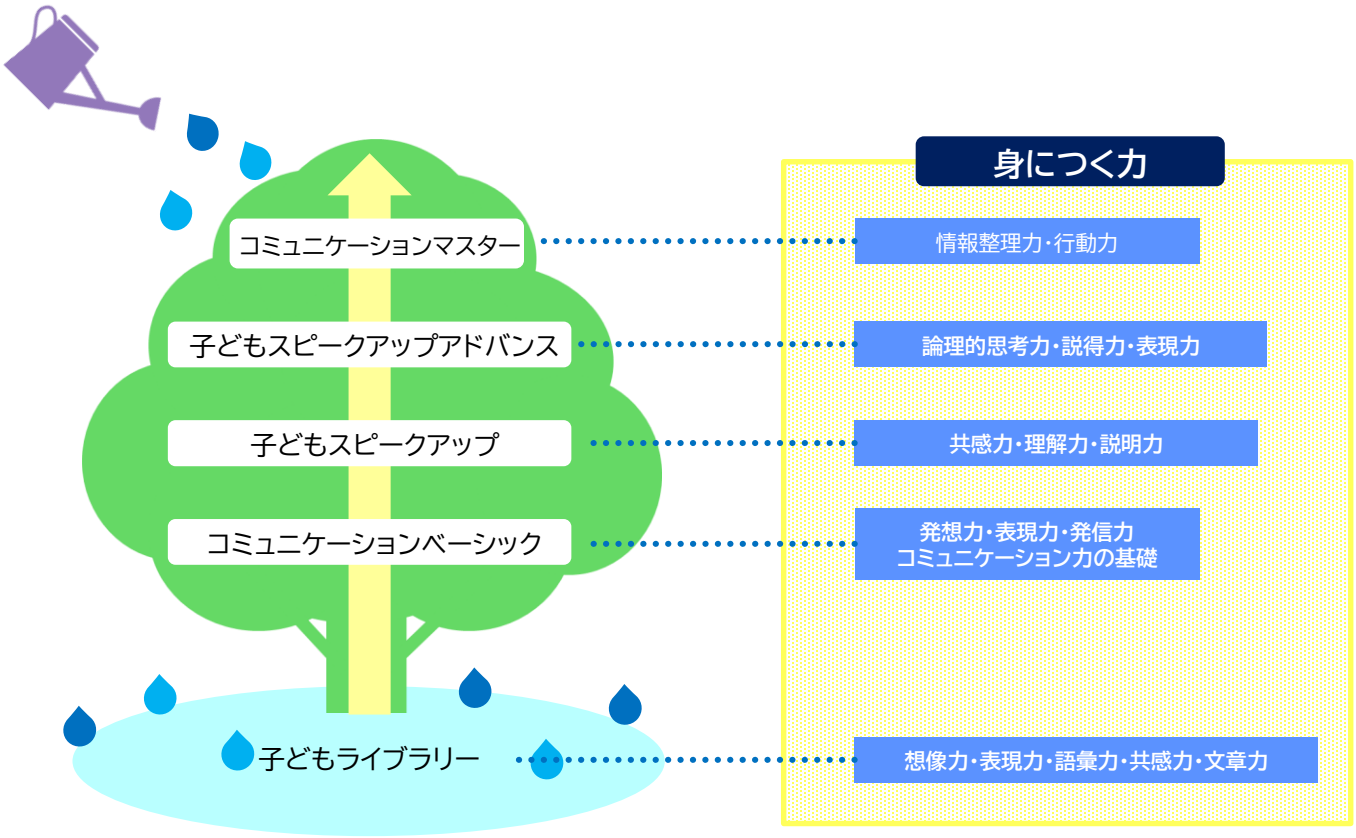
コミュニケーション力を身につけるには

子どもの頃から発言する機会をもち、それが受け入れられる環境の中で小さな自信を積み重ねていくことが大切です。コミュニケーションベーシックでは、まずお子様の意見を肯定し、自己肯定感を養い、発表することの楽しさを感じられるように授業を進めます。そして、意見と理由をセットで発信できることを目指して、発想力と表現力を育みます。

コミュニケーション講座では

コミュニケーション力を育むために必要な要素を体系的に細分化し、お子様の成長に合わせて身につけられるよう、段階的な構成としております。1年目は発信する楽しさを学ぶ「コミュニケーションベーシック」、2年目は、相互コミュニケーションであるディスカッションに挑戦する「子どもスピークアップ」、3年目以降は社会性の高いテーマを取り上げディベートやスピーチに挑戦したり、SDGsをテーマに地域社会への発信を行う講座を展開しています。

コミュニケーション講座の構成



コミュニケーションベーシック

コミュニケーションベーシックでは、すべてのコミュニケーション講座において、基礎となる力を養います。授業では自分は「どう思うか（意見）」「なぜそう思うか（理由）」を様々なテーマに対して考えていきます。説得力のある理由づけをスモールステップで学び、プレゼンテーションにも挑戦します。ここで学んだことは次のレベルの「子どもスピークアップ」などで、より実践的なコミュニケーション力の育成に繋がっていきます。

子どもスピークアップ

子どもスピークアップでは、コミュニケーションベーシックで得た知識・能力をベースに、他者の異なる価値観や思考に意識を向け、それに対し自分の考えを的確に表現することができるコミュニケーション能力を育成します。子どもたちの学校での集団生活をはじめ、将来の社会生活の中における議論でも活躍することができる発信力の基盤を養います。

子どもスピークアップアドバンス

子どもスピークアップアドバンスでは『人の心を動かす発表』ができるようになることを目標とします。授業では、文章を『読む』のではなく自分の考えを『伝える』ことを意識した発表を繰り返し挑戦していきます。また、集団でのディスカッションでは、新たにディベートの手法も学習し、さらに社会性の高いテーマについて、論理的な議論を展開。相手の反応も見ながら自分の意見が言えることはもちろん、社会的な現状なども踏まえながら自分の考えをブラッシュアップし、多くの人々に影響を与えられるような発信力の素地を養います。

コミュニケーションマスター

コミュニケーションマスターでは、3年目までに学習したスキルを統合したチームプレゼンテーションに挑戦します。リサーチ活動を通し社会課題を探究し、教室の外に出て活動する「ソーシャルアクション」を実施。「社会の一員として、自分ができること」を体現し、周りに影響を与えるコミュニケーション力を育みます。チームでの学びを重視し、それぞれの役割を意識しつつ、子ども達が自発的にプロジェクトを動かし、成長していく過程を大切にします。3年間で培ったコミュニケーション力をフル活用した発展講座です。

※コミュニケーション講座を受講される場合、講座の発表用動画やコンテストでお子様の名前が表示されることに同意いただきます。
※23年度より、スピーチコンテストは有料での参加となります。詳細は、毎年1月頃にご案内いたします。